

回答書

質問事項	回答
<p>募集要項 2事業の概要（6） ○「見積作成時は小学生・中学生、それぞれの内訳合計が分かるように作成すること」とあります。小学生、中学生で予算は別でしょうか。それぞれの上限金額があればお示してください。また、小学生・中学生合同で実施するため、分けられない経費はそのままでも差し支えないでしょうか。</p>	<p>予算は小・中学生で区分しておりません。上限金額は募集要項に記載のとおりです。 分けられない経費は2分の1とするなど、按分してご提示ください。その場合、按分方法をご提示ください。</p>
<p>委託仕様書 5業務 (2) 指導方法 ①指導内容・方法 ○「月1回の特別講座」とは、各小学校で実施でしょうか。年間4回を想定されていますか。</p>	<p>各小学校で4回ずつ、計12回を想定しています。</p>
<p>委託仕様書 5業務 (2) 指導方法 ②学習環境・講義 ○小学生の指導科目は国語、算数でしょうか。</p>	<p>仕様書に記載のとおり、自主学習の支援を基本とし、特定の教科は想定しておりませんが、ご提案を妨げるものではありません。</p>
<p>委託仕様書 5業務 (2) 指導方法 ④学力把握等 ○学力テストも小学生は国語、算数でしょうか。また、この学力テストは、28回に含まれますか。 委託仕様書 5業務 (2) 指導方法 ④学力把握等 ○中学生のテストも数学、英語で</p>	<p>現状では国語・算数を想定しています。 テストは28回に含みます。 中学生は教科を指定しているため、数学、英語で実施してください。 テストは33回に含みます。</p>

しょうか。また、この年3回のテストは、33回に含まれますか。	
6 管理・運営 (2) 運営 ②運営体制 ○小学生は15名に1名の専任講師とあります。今回の仕様(予算)だと、16人のクラスがあります。ここには、専任講師は2名の認識でしょうか。予算を組むために講師配置数をお示してください。 例) 勝瀬小は、各学年が15名を超えているため、6名の専任講師と補助講師1名が必要。つまり、1日7名の講師を配置し、6教室を運営、等。	講師数はお見込みのとおりです。教室数は各学年1教室を想定しています。
○令和7年度の登録者数と参加延べ人数を会場、学年別にお示ください。	別表により回答します。
○小4年生が加わった理由をお示ください。	家庭学習の習慣化と基礎学力の定着の拡充をより図るため、小学4年生を加えました。
○小学生の開催場所と期間が変更になった理由をお示ください。	小学生がより通いやすく、安全に学習できる環境とするため、開催場所と期間を見直しました。
○令和7年度の成果と課題をお示ください。	通年での全体的な学力向上、特にアンケート結果で「解けない問題が解けるようになった」という回答を多く得られたことから、参加者の問題理解力が向上したことを成果としてとらえています。 反面、各々の学力差および参加継続に向けた働きかけについては継続的な課題として認識しています。
○令和7年度の受注業者と受注額をお示ください。	受注額 11,744,040円 受注業者 株式会社学研エル・スタッフィング
仕様書 (P1) (2) ①小学生は想定人数で見積	最低保証額の設定はしていません。契約時は申込者数に基づいて

<p>書を作成⇒契約時は申込者数で再計算。②中学生は募集人数で見積書作成⇒契約時は申込者数で再計算。プロポーザル段階は総価。契約・履行段階は実数精算となっていますが、申込者数が応募より少なかった場合、当初の提示額を大きく下回ることになりますが、最低保証額の協議の余地はございますか。</p>	<p>の再計算をお願いしますが、物価上昇等の状況も含めてお見積もりください。</p>
---	--

別表

学年	小学5年生			小学6年生		
	鶴瀬	水谷	針ヶ谷	鶴瀬	水谷	針ヶ谷
登録人数(延べ)	870人	551人	261人	870人	522人	377人
参加人数(延べ)	707人	424人	182人	632人	404人	266人
実施回数	30回	30回	30回	30回	30回	30回

学年	中学3年生	
会場	鶴瀬	水谷
登録人数(延べ)	1,980人	1,693人
参加人数(延べ)	1,440人	1,340人
実施回数	33回	33回